

9月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

# 議会だより だいせん 66号



2021年10月28日発行  
鳥取県大山町議会

<https://www.daisen.jp/gikai/>



**決算はこの数字に注目 ..... 5**

**14人が一般質問 ..... 16~29**

**自転車購入で白熱議論 ..... 29~30**

新米の季節がやってきた



# 併後最大の決算額

9月定例会を3日から22日までの20日間の会期で開き、9月6日には決算審査特別委員会を設置し、令和2年度一般会計および各特別会計決算を分科会ごとに審査を行ないました。また令和3年度補正予算や条例改正などを審議しました。

その結果、令和2年度決算15議案を認定し、また条例改正3議案、条例の廃止1議案、財産の処分1議案、令和3年度補正予算7議案を原案通り可決しました。

令和2年度一般会計決算は、新型コロナウイルス感染症対策にかかわる事業実施の影響により、合併後最大の決算額となりました。なかでも大きな事業としては、「ありがとう！大山みんなで応援券」事業費の1億6456万円がありました。



## 事業継続支援交付金

町内に事業所を有する事業者か住所を有する個人事業主が対象

**3000万円**



## 旧庄内小学校舎解体工事

解体工事とアスベストなど調査を委託する

**8646万円**



## 定住促進住宅整備事業

子育て世帯や新婚世帯に向け賃貸住宅を供給し人口減少対策をはかる

**1666万円**

**令和3年度に追加する主な事業**



9月  
定例会

138億円 合

## 令和2年度に 行われた主な事業

見本



見本

### 「ありがとう!大山みんなで応援券」発行事業

コロナ禍、町内の事業者を応援するため  
全町民を対象に1人1万円配布した

1億6456万円



### 小規模保育所建設事業

きめ細やかな保育を  
提供するために新設

1億692万円



### 小中学校情報機器整備事業

1人1台のタブレット端末と学習ソフト  
などの情報機器を整備した

6573万円



### 中山清掃センター解体事業

平成23年より休止している  
清掃センターの解体工事を行った

2億4607万円

# 令和2年度 決算の概要



令和2年度一般会計の決算は、新型コロナウイルス感染症関連費用により合併後最大の決算額になりました。歳入総額は138億8033万円（前年度比21億9811万円の増）、歳出総額133億8082万円（前年度比21億1543万円の増）です。

基金（貯金）残高は、一般会計が58億9143万円、特別会計が11億8729万円で、前年度に比べ両会計を合わせて6200万円の増となりました。

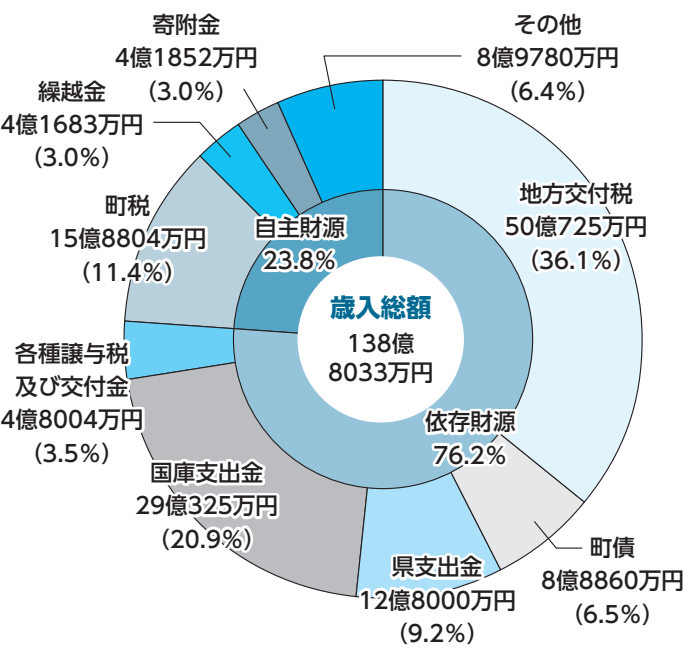
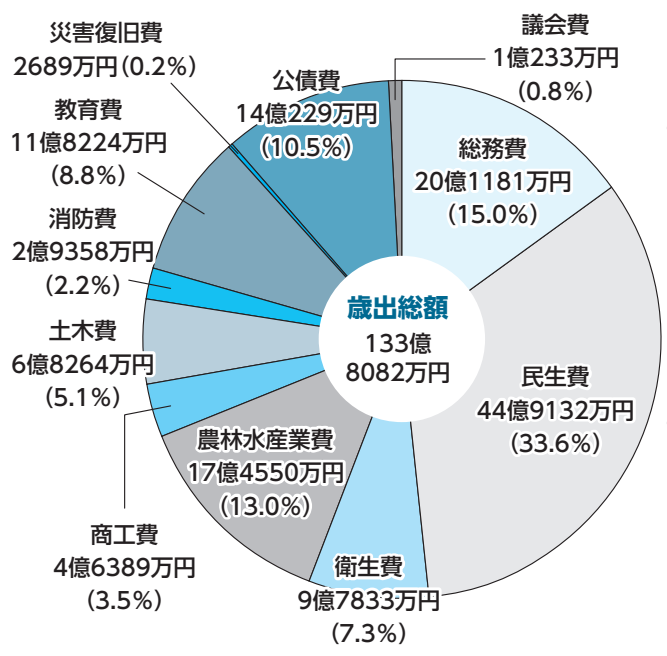
町債（借金）残高は、一般会計が95億2856万円、特別会計と水道事業会計が58億940万円で、前年度に比べ合わせて9億4235万円の減となっています。

一般会計では、人件費が21億8268万円で、前年度に比べ5億6409万円増えています。前年度まで物件費に含まれていた嘱託・臨時職員賃金（前年度は4億235万円）が、法改正により※会計年度任用職員賃金として人件費に含まれるようになったことによるものです。

### ※ 会計年度任用職員とは

地方公務員法の改正により、従来の臨時的職員などは会計年度任用職員としての任用になりました。休暇、手当などが拡充されています。

### ○一般会計歳入・歳出の状況



### ○基金（貯金）と町債（借金）の状況

会計名	基金（貯金）	町債（借金）
一般会計	58億9143万円	95億2856万円
特別会計	12億4092万円	50億1863万円
企業会計（水道事業）	—	7億9077万円



# 令和2年度決算 この数字に注目

## 16億630万円

### 特別定額給付金 (1人10万円)の総額

新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策である特別定額給付金は、市町村を通じて支給されました。

大山町では、5,762世帯、16,063人（対象者は5,777世帯、16,093人）に支給されています。

（支給されなかった世帯の理由：辞退6世帯、死亡6世帯、連絡が取れない3世帯）

このほか、国から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4億7千万円を受け、ありがとう！大山みんなで応援券事業、小規模農家農作業省力化支援補助金（草刈機購入補助金）などの事業が実施されました。

## 58%

### 保育園0歳児の入所者割合

町内の保育所に入所した0歳児は49人（令和2年4月1日現在）。

0歳から入所する児童は年々増える傾向にあり、1歳児は68人（78%）、2歳児は91人（83%）が入所しています。

保育所での幼児教育の充実や、保護者のしっかりした連携が欠かせなくなっています。



健やかな子どもの成長を地域で支える

## 16人

### 看取り件数（大山診療所）

令和元年度から鳥取大学医学部と連携し、大山診療所内に鳥取大学家庭医療教育センターを設置し、家庭医療の教育と実践が行われています。

懸案であった固定医の確保により、訪問診療はじめ外来件数が増えてきています。

人生の最晩年を住み慣れた自宅で迎えられる看取りの件数は、平成27年度は2件でしたが、令和元年度8件、令和2年度16件に増え、人生100年時代に欠かせない地域医療拠点となっています。

## 33%

### 大山寺の宿泊客・前年比

令和2年中、大山旅館組合加盟施設の宿泊者は18,161人。年初は雪不足によるスキー客減、3月以降はコロナウイルスの影響で、大きく数字が落ち込みました。

町は、宿泊事業継続支援交付金や、町民限定のモニターツアー、町内に泊まろう！宿泊応援事業など約9千万円の新型コロナウイルス感染拡大対策事業（観光関係分）を行い、事業継続の下支えをしています。

# チェックします

9月定例会

## 議案の

## 質疑

## 討論

### 条例改正 質疑

大山町農業者トレーニングセンター・多目的運動広場及び農村運動広場条例の一部を改正する条例

### クライミングウォール

【西本議員】令和4年4月からクライミングウォールが町営になるにともない、利用料金が変わる理由は、

【社会教育課長】西部地区内の民間営利施設の営業を圧迫しないように配慮して値段の設定をした。

### 一般会計決算 質疑

#### 山香荘キャンプ場

【門脇議員】山香荘のキャンプ場の利用促進の状況は。

【観光課長】コロナ禍でアウトドアが注目されており、山香荘のキャンプ場の利用者数も、微増ではあるが増えている（平成30年度が214人、令和元年度が354人、令和2年度が366人）。今後、町が取り組むサイクルツーリズムと連携してキャンプ場の利用促進をしていく。



コロナ禍でキャンプ場が人気

### 観光案内所

【吉原議員】コロナ禍で実施できる事業が減っているが、大山観光局に運営委託している観光案内所の予算は減っていない。予算は有効に使われているか。

【観光課長】予算の95%が人件費である。観光案内所の業務としては、電話対応含めた観光案内、旅行商品の予約、レンタル業務、ホームページの管理、体温チェックなどの衛生管理などである。



多種多様の窓口業務



### 財政状況

〔吉原議員〕 財政状況についてどう考えるか。  
 〔財務課長〕 基金は増えてきている。今後も交付税が今の水準で維持されれば、健全な財政運営はできる。

### 下市駅前雨水排水

〔池田議員〕 下市駅前の雨水排水施設改修について設計業務を委託しているが、今後のスケジュールは。  
 〔総務課長〕 昨年度に基本設計の5つの案を作成し、これから絞り込む。今年度は、地権者にも話をした上で、詳細設計を行い工事となる予定。



浸水被害のある下市駅周辺

### デマンドバス

〔岡田議員〕 デマンドバスの輸送人員が毎年減少傾向にあるが、PRや利便性向上などが必要ではないか。  
 〔企画課長〕 新規で利用を始める人が少ない状況である。制度的PR不足は課題だと認識しており、今後も継続的に取り組みたい。利便性の改善については、タクシー助成など他の制度も含めて総合的に検討をしていきたい。



利便性の改善を求める声は多い

### 地域おこし協力隊

〔池田議員〕 地域おこし協力隊受入れ態勢構築アドバイザー委託料とあるが、どのような内容か。  
 〔企画課長〕 専門家に、現在活動中の協力隊の聞き取り調査を委託し、今後の活動や新たに募集する地域おこし協力隊に関する助言を受けた。

### 婚活支援

〔近藤議員〕 鳥取県が運営する婚活サポートセンター「えんトリー」の大山町民の会員が、令和2年度末の時点で、男性が15人、女性が1人である。近年の成果でいくと、年に1組の成婚があるかないか。  
 〔企画課長〕 えんトリーへの加入助成だけではなく、本町としてその他にどのような取組ができるかは、今後も継続して検討する。



鳥取県が運営する「えんトリー」

## 町民スキー誘客

〔近藤議員〕 予算に對して実績が大幅に少なかった。目的がスキー場支援だったのだから、対象者を県西部などに広げて利用者を増やすべきだったのでは。

〔観光課長〕 国から本町へ配分された交付金を活用したため、町民を優先しなかった。スキースクールの利用は好評であった。

## 大山町モニターツアー

〔岡田議員〕 大山町内に泊まろう宿泊応援事業について、効果を検証したか。

〔観光課長〕 はじめて大山に泊まったという町民が約7割だった。

町内の魅力を知る良い機会となったという声が多く、体験メニューの掘り起こしにもつながった。今後のツアー造成に生かしていく。



好評だったモニターツアー

## ふるさと応援基金

〔近藤議員〕 ふるさと納税の寄附先が地域自主組織となっているものについて、寄附額の格差はどれくらいあるのか。

〔企画課長〕 700万円程度の差があり改善の必要はあると考えている。各地域自主組織にヒアリングをしたうえで来年度に向けて検討を進める。



応援基金が共助交通の活動資金

## 少人数学級

〔大杖議員〕 35人学級への協力金の内容と成果は。

〔幼児・学校教育課長〕 35人学級にしている。協力金を県に支払うことで教職員を派遣してもらっている。少人数学級を行つことで、きめ細かい指導ができています。

## 討論

〔反対…大森議員〕 同和対策関連事業が今も必要か疑問だ。

結婚差別、就職差別、地区内外との経済格差など、すでに社会問題として解消している。

〔賛成…吉原議員〕 ネット差別が深刻だ。同和対策事業の中で、子どもたちが正しい歴史や人権問題を学習している。今後も必要だ。

〔賛成…岡田議員〕 令和2年に県内で実施した調査でも、結婚などで差別がまだ残っていることが数字としてでている。同和対策事業はまだ続けていくべき。



## 補正予算 質疑

### 定住促進住宅整備

【小谷議員】 大山口エリアに官民連携で住宅を整備することについて、エリア選定などで民間事業者の意向を優先しているようだが、

【企画課長】 事業者にリスク、責任を大きく負ってもらう想定だ。



開発の進む大山口エリア

### タブレット持ち帰り

【門脇議員】 コロナ禍で長期間休校などのケースも考えられる。家庭への持ち帰りができるようにすべきではないか。

【教育次長】 家庭への持ち帰りについては、各家庭のオンライン環境を考えると現状は難しいが、今後検討していきたい。

### 遺跡発掘調査

【大森議員】 町道中山インター線改良工事で発見された赤坂向山遺跡をどう評価しているか。重要度によっては保存の方法も検討する

べきではないか。  
【観光課長】 本調査をしてみないとわからない。その結果、また協議をしたい。

### 水産物出荷運賃支援

【西本議員】 水産物の出荷運賃の補助について、具体的な支援の対象者は。例えば、町内在住者で淀江などで出荷している町民は支援の対象から漏れてしま

うのか。  
【農林水産課長】 町内の組合で出荷していることが条件だ。正組合員だけでなく、準組合員も対象としている。町民が、町外で出荷しているケースについては、現状は支援の対象外となっているが、コロナ禍で影響をうける町民を支援するという観点から、該当者がいる場合は、再度協議の上、対応を検討していく。

### 災害対策

【野口議員】 備蓄置き場の食料を入れる段ボールにカビが生えないように、木製のこたぎを購入することだが、木製のこたぎにもカ

ビが生えるのではないかと。材質を検討したほうがよい。  
【総務課長】 再度、どういったものにするか検討する。



床に置かれた備蓄品

### スマート農業

【岡田議員】 スマート農業社会実装促進事業補助金について、今後の見通しは。  
【農林水産課長】 水田

の自動水管理や、ドローンを使用した防除などが取り組まれており、今後も積極的に支援していきたい。

# 町長に機構改革を求める

## 昨年度に続き決議案を提出

### 決算審査特別委員会

#### 決算は認定

付託を受けた15議案は、分科会方式により9月7、8、9、10、13日の5日間審査し、さらに17日には委員全員で審査した。

審査の結果、付帯意見を付け全議案を認定した。

一方で、昨年度、全会一致で議決した観光・商工業務の統一を求める決議に対し、組織機構の見直しが不十分であり、再度、決議案を提出した。

#### 付帯意見

令和2年度末の未収金は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、町税などで約2億円、各種使用料などで約3億円となっている。

これは自主財源年額のおよそ2割近くに相当する額である。

時効を迎えるものもあり、関係各課が連携をより一層強化して回収がより進ちよくするよう尽力されたい。

#### 観光・商工業務に係る機構改革を求める決議（抜粋）

令和元年度決算審査において、「観光・商工業務の統一を求める決議」を提出し、可決した。

しかしながら、決議に対応した組織機構の見直しはその後も行われていない。

本町の基幹産業である観光と商工業は密接に結びつく必要があり、現状のままでは、それぞれの発展を阻害することも危惧される。

したがって、本議会は次のとおり町長に求める。

『検討されている大山観光局のDMO化は、今後の観光・商工業政策の中心的な取り組みになりうる。これを効果的、効率的に実施するためには観光と商工業に関する業務を同一課で所管することが必要である。』

さらなる観光商工業の振興のため、直ちに機構改革に着手されたい。』

# 監査委員の指摘と意見

代表監査委員 石黒 澄男  
議会選出監査委員 野口 俊明

#### 〔指摘事項〕

なし

#### 〔監査意見〕

##### 工事・業務の完成検査

工事・業務等の履行期間の設定は、安易に年度末日に設定せず、完成したのから早めに検査を行い、事業完了させることに努められたい。

#### 観光協会

大山町観光協会の下に3支部（大山・名和・中山）および大山町観光協会が組織されているが、実態としては各組織が単独で事業を推進しているように見受けられる。

町全体に目を向けた、より効果的な観光事業を推進する組織への一本化を検討すべきである。

#### 事務事業評価

事務事業評価の取り組みが、事業の存廃、あるいは機構改革の見直しに資するものとなるよう留意されたい。

#### 過年度未収金

新型コロナウイルスの蔓延による経済活動の停滞により、現年度分の徴収率が下がっている。今後、取り巻く環境が改善された後を見据えた滞納整理を進められたい。



町長に意見を伝える監査委員



9月定例会

# 常任委員会の活動

## 総務 常任委員会

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

### 公金取扱手数料

◎公金取扱手数料とは。

▲各金融機関で公共の取り扱い1件につき10円を支払っている。大口はJA西部、合銀、鳥銀で総額243万円である。

会計課

### 徴収率

◎徴収率が向上している要因は。

▲新型コロナウイルス徴収猶予によるものもある。今後も滞納整理など自主財源の確保に努める。

税務課

### 公園管理

◎御来屋3区公園管理の民間委託は今後も続くのか。

▲町で管理すれば費用がもっと高くなり、公園の管理が出来なくなるので、続けて委託する。

財務課

## 増水しやすい水路を視察



下市駅付近の排水路

9月7日から10日の4日間、所管する各課から令和2年度決算ほか事業の説明を受け審査した。

9月9日には防災対策事業の排水路や水防倉庫の現地視察を行い、排水路増水力所の現況を確認をした。

### 地方交付税

◎近年の地方交付税の状況は。

▲令和元年44億、令和2年46億と国の体制が変わらなければ増える。

財務課

### ありがとう 大山応援券

◎落ち込んだ町内消費への成果は。

▲コロナウイルスの感染症拡大により町内消費を図るために行い、換金額1億5579万円、換金率94.95%となった。

企画課

### 大山町ホームページ

◎リニューアル後のホームページ閲覧者数への効果は。

▲閲覧者数が2000人を超えた日は令和2年度は1日だけで、令和3年度は現在までで2日である。

総務課

## 教育民生 常任委員会

### 不法投棄監視員

◎不法投棄監視員の役割は。

▲月2回、巡回してもらい不法投棄の状況を報告してもらっている。報告をもとに、原因者がわからない廃棄物は、町で処分している。

住民課

### シルバー交付金

◎令和2年度の取り組み状況は。

▲コロナ禍の影響があったが、143集落で敬老事業や支え愛事業の取り組みがあった。高齢者の見守り、ごみ出し支援の取り組みも増えている。

福祉介護課

### スクールソーシャルワーカー

◎現在の配置状況と、今後、増員する考えは。

▲現在は1人（週20時間勤務）のみの配置である。適任者があれば配置を増やしたい。

幼児・学校教育課

### 老朽化した下田中児童館を視察



下田中児童館

9月7日から10日、13日の5日間、所管する各課から令和2年度決算ほか事業の説明を受け審査した。

15日は、大規模改修が行われた中山中学校や、新築移転が計画されている下田中児童館などの視察を行った。

### 成人式

◎どのような成人式が望ましいか。新成人に向けた講演などもあってもよいのでは。

▲社会人教育ということもあるので、今後検討していく。

社会教育課

### コロナワクチン

◎集団接種の状況は。

▲対象者（12歳以上）のうち、9月1日現在で、2回目が終わった人は64.4%。10月上旬までに集団接種（職域などでの接種を除く）で、79.4%が接種する予定である。

健康対策課

### ファミリーサポート

◎令和2年度の利用実績は。

▲おねがい会員（子育ての手助けをしてほしい人）168人、ひきうけ会員80人、両方会員38人、計286人の登録があり、利用件数は209件だった。

こども課



# 経済建設 常任委員会

## ナスパルタウン

◎分譲区画の状況は。また土地購入後も住宅未建設の区画数は。

▲令和2年度末で残り区画は4区画である。住宅未建設区画が12区画あり、今後は購入者に意向調査を行う予定である。

建設課

## 町民スキー誘客事業

◎令和2年度に実施したが本事業の利用者は少なかった。令和3年度も実施予定だが、利用者を増やす取り組みは。

▲昨年と事業内容は変えていない。PRをしっかりしていく。

観光課

## 文化財の教材活用

◎機構改革後も改革前のように文化財を学習教材として活用できているか。

▲以前のように活用できていない。教育委員会とも協力し、活用していきたい。

観光課（文化財室）

## コンテナを活用し低コストで設置予定



名和浄化センター内の車庫建設予定地

9月6日から9日の4日間、所管する各課から令和2年度決算ほか議案の説明を受け審査をした。

9日には、畜産クラスター事業（萩原地区）の人工湿地ろ過システムの現状や、水道課が所有する非常用発電機格納庫や車庫建設予定地を視察した。

## 地籍調査事業

◎調査の進捗状況は。

▲調査完了まで35年程度かかる見込みである。今後は調査が山林部となるため、高速レーダーを活用している自治体の事例を参考にしていきたい。

地籍調査課

## 果樹緊急支援

◎果樹栽培農家への緊急支援の内容は。

▲4月の霜・あられにより、3割以上の収入減が見込まれる町内全ての柿・梨の栽培農家に対し、緊急防除に係る費用を支援する。

農林水産課

## 新規農業経営

◎令和2年度の新規農業経営参入の状況は。

▲ブロッコリー2人、ネギ1人、梨1人の新規参入者があった。

農業委員会

# みなさんからの**請願・陳情**はこうなりました

9月定例会で審査した請願・陳情の結果を報告します。

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願書	鳥取県農民運動連合会 代表者 今本 潔	コロナ禍の影響で米価格下落による農家収入の減少は、収入保険やナラシ対策などの制度が適用できる。政府の備蓄米買取は賛同できるが、市場に戻すとさらなる米価格下落を招く恐れもある。総合的に判断をし、採決の結果、全会一致で不採択すべきものと決した。	不採択
新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急支援の要望	大山町商工会 会長 山根 均  大山観光局 会長 足立 敏雄	コロナ感染第5波の影響が想像以上に長くなっており、町内の事業継続の難しさが鑑みられる。アフターコロナの事業に大山町産の食材を活用するなど、他産業と連携をとり、大山町の良さをアピールする体制づくりを期待するものである。採決の結果、全会一致で採択すべきものと決した。	採択

## 米危機の請願に対する質疑討論

### ○請願内容

1. コロナ禍で生まれた市場に滞留する在庫を政府が買い取るなどして市場から隔離し、需給環境を改善するとともに米価下落に歯止めをかけること。
2. コロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食糧支援制度を欧米並みに創設し、政府が支援すること。
3. 国内消費に必要のない外国産米(ミニマムアクセス米 現在77万トン)について、国産米の需給状況に応じて輸入数量抑制を直ちに実行すること。

### 質疑

【大森議員】※農業収入保険やナラシ対策だけでは、小規模農家の救済にはならないのでは。政府が余剰米を買い取るべきだと思うが。

【大杖経済建設委員長】米価は、基本的に市場原理に委ねられており安易に介入すべきでないが、海外支援米として余剰米を利用してはという意見も出た。

人口減やコロナ禍で需要減が加速している中で、何らかの介入も必要との意見もあった。

【大原議員】委員長報告に補足するが、確かに農業収入保険は青色申告が条件となっており加入の

ハードルは高いが、本町も掛金の一部を補助しているので検討してもらいたい。

政府の在庫米は、天災などの収量減時に放出するもので、今回はどうなのか。

近年の需要減に対し政府は、輸出や他の高収益作物への転換に補助をしている。

東日本の主産地では、さらなる飼料米への転換が推進される見込みである。

【大森議員】食料支援制度については。

【大杖経済建設委員長】コロナ禍という有事下でもあり、法的整備を急ぐべきで、委員会での反対意見はなかった。



【大森議員】外国産米についてはどうか。

【大原議員】ミニマムアクセス米については、多国間協議の中で、米の自由化の代償となるもので、国内の需給が緩んでしまったからといって、日本が急に数量を変えられるものではない。

討論

【賛成・大森議員】昨年に続き、今年の生産者米価が暴落し、来年の価格も下落が容易に推測される状況のなかで、米農家が存亡の危機にさらされている。

※農業収入保険とは

平成31年1月から新たに始まった「収入保険」は農業をされている人の経営努力では、避けられない自然災害や農産物の価格の低下などで、売上が減少した場合にその減少分の一部を補償する保険である。

基本的に、農産物ならどのような品目でも対象となる。保険料率は、1・08%（50%の国庫補助後）で、収入保険に加入していれば農家ごとの平均収入の8割以上を補償している。

1年でも青色申告実績があれば、加入可能である。詳しくは地元の農業共済へ相談してください。



この大暴落は、全国的なもので、鳥取県内でも同様な状況である。

農協からの仮払金も、「コシヒカリ一俵当り、前年度比で2、800円の減で、1万600円となっている。

鳥取県での米の生産費の平均は2万3689円であり、その半分にもならない状況である。

大規模農家ほど打撃が大きくて小規模農家も含めて、営農の危機にあると言わざるを得ない。

ですから、全国知事会でも、来年度の予算要望のなかで、備蓄米の買入れ数量を拡充するよう求めている。

国へ提出する意見書

意見書名	意見書の内容（要旨）	提出先
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。</li> <li>固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。</li> <li>令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。</li> <li>令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。</li> <li>炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。</li> </ol>	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 経済産業大臣 内閣官房長官 経済再生担当大臣

14人が町長・教育長に  
一般質問を行いました。

# あなたの声を町政に

## ◆一般質問とは

議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
17	1. 本町の学校教育について 2. 本町の防災対策について	杉谷 洋一
18	1. 持続可能な財政運営と財政計画について 2. 本町におけるスポーツ振興の可能性について	森本 貴之
19	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. ごみステーションについて	門脇 輝明
20	1. 自主組織の今後の方向性は 2. 地域おこし協力隊（研究員）の今後	西本 憲人
21	1. 大山町の子ども教育は 2. 大山町の観光戦略を問う	吉原 美智恵
22	1. 定住促進住宅整備事業について 2. 農地の担い手問題について	豊 哲也
23	1. 「英語教育のまち大山町」構想の方向性と内容について 2. 本町の習い事環境の充実施策について	小谷 英介
24	1. コロナ対策の強化を 2. 西部広域ごみ処理「基本構想」による今後は	大森 正治
25	1. スポーツ少年団への活動支援について 2. アフターコロナの移住促進施策は 3. 中山地区に、子育て世帯向けの賃貸住宅を	近藤 大介
26	1. ひきこもり対策について 2. 農地保全対策について 3. 防災対策について	大原 広巳
27	1. 今後の財政運営の基本を問う 2. 農業施策は	岡田 聰
28	1. 誰もが住みやすい町へ	池田 幸恵
	1. 町民の健康をどう守る	野口 俊明
29	1. 防災行政無線について	島田 一恵

# 一般質問席

議事録は、議会事務局  
や議会ホームページで  
閲覧できます。





杉谷 洋一 議員

# 本町の学校教育は

## 町独自の小中連携に 取り組んでいる

教育長

【杉谷】本町の素晴らしい自然環境を生かしながら、学校はこれまでの画一的な授業ではなく、新しい社会を力強く生きていくために、一人ひとりの個性や創造性などを伸ばす教育が大切と考えるが。

【教育長】町独自の小中連携による取り組みで学力向上を行っている。

【杉谷】不登校やいじめの対応は、学校の責任だけでなく、家庭にも責任があると思う。特に、最近は家庭で



素晴らしい自然とのふれあい

【杉谷】SNSなどが問題となっている。子どもの安全を守るには学校と家庭の連携強化が重要だと考えるが。

【教育長】学校から教育委員会への報告により、適切な指導・助言や改善を行っている。

【杉谷】多忙な教員の仕事を軽減させ個々の児童生徒にキメ細かな教育を行うためには、現在の35人から30人の少人数学級にすることが求められているが。

【教育長】今後、小・中学校の30人学級を実現しようと考えている。

# 本町の防災対策は

町長

## 平常時の防災意識の 徹底に主眼を

【杉谷】想定外の災害が各地で発生し甚大な被害が出ている。町民の生命財産を守るため、空振りを恐れずに危険と判断したときは避難指示を発令しては。

また、避難状況は。

【町長】避難所の開設数と避難者数は、令和2年度はゼロ。令和3年度は8月まで6回で、21人であった。平常時の防災意識の徹底に主眼を置き対策している。

【杉谷】集落防災の組織率は。

【町長】本年8月末時点の自主防災組織の設置集落数は123集

落、設置率は74・1%である。

【杉谷】備蓄品の使用状況は。

【町長】主な使用物品は毛布と飲料水であり、避難所で避難された人が使用している。また、他の被災自治体

からの物資要請には、柔軟に対応している。

【杉谷】集落の防災訓練および防災学習は。

【町長】防災専門員および消防団に訓練の依頼などがあれば積極的に参加して指導する。



汗入農免農道の災害現場



森本 貴之 議員

# 協働のまちづくりの具現化は

## 行財政改革に取り組み 改革を進める

町長



持続可能な町財政のために

【森本】決算は次年度へ向けた大切なスタートである。

町長就任1期目から令和2年度決算までにおける自主財源比率の年度毎の推移は。

【町長】平成29年度、25.6%、平成30年度、27.8%、令和元年度、29.7%、令和2年度、24.0%となっている。

【森本】今後の自主財源比率の目標数値と根拠は。

【町長】目標数値は定めていない。

【森本】一般会計で管

理している基金の運用についての課題は。

【町長】現段階ではない。

【森本】第5次大山町行財政改革大綱に掲げられている基本理念の「一人ひとりが大切にされ活かされる協働のまちづくり」をどのように具現化していくか。

【町長】住民ニーズに沿った行政サービスを提供できるよう行財政改革に取り組み、PDCAサイクルを回し改革を進める。

教育長

検討したい

# スケートパーク整備を

# 検討しないか

【森本】本町におけるスポーツ振興とその可能性について質問する。

子どもの体力向上において、スポーツ教育への取り組みの現状は。

【教育長】学校においては、基礎的・基本的な体力・運動能力を身につけながら、楽しさを体感できるよう取り組んでいる。

地域においては、スポーツ少年団の育成支援を通じ、スポーツ活動に親しむよう取り組んでいる。

【森本】今後の課題は。

【教育長】スポーツ少



広がるスポーツの楽しさ

年団員の減少、指導者の確保、既存の種目以外のスポーツを楽しむたい子どもたちへの対応だ。

【森本】ローラースポーツを幅広く楽しめるよ

う、スケートパークの整備を検討しないか。

【教育長】土地の確保や建設費用、維持管理も考慮しながら、検討したい。





門脇 輝明 議員

# タブレットでの 学習保障は

## 有効活用に向け 早急に検討したい

教育長



タブレットで在宅学習は

【門脇】学校や保育所で感染者が発生した場合、学習の保障手段は。【教育長】昨年臨時休業をする中で、学校の状況や学年の実態に応じて、それぞれの学校が工夫した取り組みをしてきた。

【門脇】タブレットなどを利用した学習保障は。【教育長】設置してあるタブレットを有効に活用できるように、課題などを早急に検討したい。

【門脇】自宅療養の場合、血液中の酸素濃度

を測るパルスオキシメーターを保健所が貸し出すと報道されているが、不足した場合、町民への貸出が可能な町営診療所などの保有する台数は。【町長】各直営診療所で2台から5台保有しているが、貸出できる状況ではない。

【門脇】高いものでも数万円だ。予備機材として何台か診療所に設備できないか。【町長】制約があると思うので、町で持つのは難しいとの認識だが、検討はしてみたい。

# ごみステーションの 追加設置は

町長

## 住宅の位置や 年齢層などで判断する

## 追加設置は

【門脇】ごみステーションの設置基準は。

【町長】一定の条件下、各集落が希望した場所に設置している。

【門脇】追加設置は。

【町長】住宅と、ごみステーションの位置や年齢層などを勘案し、追加設置の可否を判断している。

【門脇】デマンドバスの停留所のような基準は、ごみステーションには反映されないか。

【町長】一定の基準で設置されている。

また、設置当時の旧町単位の基準で設置されているところもある。

【門脇】旧町で設置基

準が違えば町民に差がつく。

見直す予定は。

【町長】個別で対応できるという認識だ。

【門脇】具体的な話があれば検討するということか。

【町長】相談には担当課が対応している。

設置当時の時代背景と現状は違っている。今の収集体制がいいのか、抜本的に考えなければという課題感を持っている。



ごみ収集は基本的な住民サービス



西本 憲人 議員

# 自主組織の 今後の方向性は 地域課題の解消への 取り組みだ

町長



宿泊事業を行う自主組織

〔西本〕 自主組織は年間300万円を活動費として町からの補助があるが、何をやる組織なのか明確になっておらず、そのため、評価基準もあいまいだが。

〔町長〕 目的は従来どおりの集落維持で、例えば共助交通・敬老会事業だ。

今後は道路管理・森林管理・空き家の掘り起こし・移住定住・防災・除雪に取り組んでもらいたい。

〔西本〕 当初3年間のみ活動費300万円の話

があったようだが、現場では説明を受けたこともなく、現状把握していない課長もいるが、認識はどうか。

〔町長〕 私も直接的に議論してないが、永遠に出し続ける性質のものではないような議論があったと認識している。

〔西本〕 収益事業の整理・整備が必要ではないか。

〔町長〕 法律の範囲内でやってもらいたい。活動費と収益的な事業を分けて考えたほうがすっきりするのではないかと考えている。

〔西本〕 今後の協力隊の募集予定は。

〔町長〕 企業・地域プロデューサー・観光・農業・水産の5部門で募集予定である。

〔西本〕 本町の協力隊の定住率は11人中8人で72・7%の県内トップだ。全国的にも高い数字だがもっと積極的に募集しないか。

〔町長〕 移住定住の面でも結びつきが良く、町としても推進したい。

〔西本〕 総務省でも協力隊の募集予算を増やして力を入れていく予定なので、今後の協力隊の提案を8つする。

①海側の観光②商工会

での各種補助事業の説明や申請③議会事務局での広報の促進④教育委員会スクールソーシャルワーカー⑤恵みの里でPRや商品開発⑥婚活事業としてえんトリイPR⑦漁協での

未利用資源の商品開発⑧スケボーやクライミングなどのスポーツ振興などどうか。

〔町長〕 持続可能な形で地域に残れるスタイルなら向かっていく。



地域を笑顔にする協力隊

町長

募集をしていく予定だ

## 地域おこし協力隊の 今後はどうか





吉原 美智恵 議員

# 本町の子ども教育は

教育長

## 地域と連携し環境整備する

【吉原】本町の教育現場は、指導要領が改定され勉強する内容も増え、環境の整備も課題である。  
学習の基盤となる、ギガスクールの現状と課題は。  
【教育長】一人一台のタブレットを使い、オンライン授業を取り入れているが、内容を理解しノートにまとめる指導が課題だ。



自転車通学頑張ってます

【教育長】準備委員会を設置し、これまで築いてきた地域との結びつきを生かしながら、体制をつくっている。  
【吉原】円滑な学級運営を支える人権学習の推進は。  
【教育長】人権の視点はとても大切である。自他の人権を尊重し、実践力の育成を目指している。

【吉原】いじめや不登校、タブレットを使用している人権侵害など、事態は深刻であるが。  
【教育長】家庭とも連携し対応していく。

# 本町の観光戦略は

町長

## 町内全域の

## 観光誘客を目指す

【吉原】先般策定された戦略では、安心安全でファミリーも利用しやすい、アウトドアフレンドリーな観光を目指すとしている。  
本町には、歴史資源や花の名所もある。  
近場で地元を見直すマイクロツーリズムの考え方も大切では。

で、地域の資源を生かす  
しきれない。  
リモート観光という新しい形の観光も始まり、町内資源の活用と周遊コースの設定ができていない現状で

ある。  
【町長】地域の魅力を磨き上げ、観光局が中心となり町内全域の観光誘客の窓口となる体制づくりを進める。

【町長】海側の拠点整備や自転車活用のためインフラ整備を進め、町内の自然・歴史につながるツアーを造成していく。  
【吉原】コロナ禍で、大山観光局の仕事も見えず、観光協会の各支部役員はボランティア



後醍醐天皇お腰かけの岩



豊 哲也 議員

# 定住促進事業で 民業圧迫の懸念は

町長

## 著しく優位性はつけない



盛り上がる大山口駅周辺

【豊】大山口周辺は今非常に盛り上がり、町が計画しなくても町道を整備し町民の不動産投資にゆだねるほうが、メリットも大きいと思うが、近隣の道路整備をする計画はないか。

【町長】計画はない。

【豊】今回、国からの補助金が50%ある。通常の状態でも大山口駅周辺は空き物件が非常に少なく、アパートなど建てやすい状況にあり、補助がなくても採算が成り立つ。補助が50%ある事業は家賃が

半額でも事業が成り立つわけだが、民業圧迫にならないか。

【町長】間取りや戸数などまだ決まっていない。家賃も著しく優位性のあるような、金額設定はしない。

【豊】事業者アンケートでは中山地区でも検討できるという回答があったが、中長期で本町の他エリアでも検討しないか。

【町長】大山区での事業が軌道に乗れば、他地区での事業展開につながるかと考えている。

# 農地の担い手問題に対応は

町長

## 地域おこし協力隊など

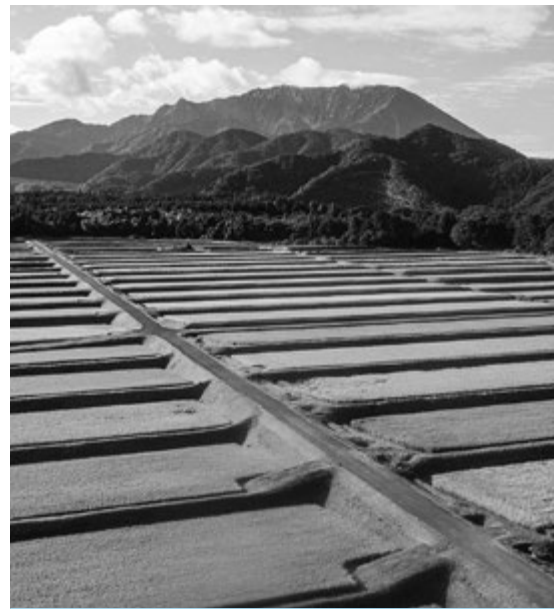
## 育成している

【豊】ブロッコリーやスイートコーンなど畑地での作物が現状、稲作よりも収益性が高いが、本町全体で中長期での畑地転用などの計画はあるか。

【町長】中長期的な畑地への転用計画はない。

【豊】無農薬や減農薬栽培が市場でもニーズが増えてきており、そうした農法で農業をしたいと考える新規就農者も増えてきているが、その傾向に合わせて、エリアの計画などを立てているか。

【町長】作物の種別指定をするようなエリア計画は立てていない。



本町の美しい田園

【豊】Uターン・イターンでの新規就農者への取り組みとその成果は。

【町長】地域おこし協力制度の活用により、担い手を育成している。県・普及所・担い手

育成機構などと連携し対応している。

【豊】稲作の新規就労者は近年ないが対策は。

【町長】農業従事者の数、イコール新規就業者ではない。親元就農の人などもいる。





小谷 英介 議員

# 英語教育のまちの構想は

教育長

## 英語の実践の場をつくりたい

【小谷】 社会のグローバル化が一層進む。今の子どもたちが大人になったとき、英語は「役に立つ」ではなく「できないと暮らしていけない」ものになる。格差をうまないために、本町も英語教育に力を入れるべきだ。

【教育長】 子どもから大人まで英語を学べる環境を整えていく。

【小谷】 本町における英語教育の特色は。

【教育長】 幼児期から外国語指導助手を活用して、英語活動や異文化体験を実施し、小学校には英語専科の加配教員を配置している。

【小谷】 「英語教育のまち大山町」に向けてどのような施策を考えているか。

【教育長】 英語を使える場づくりが重要だ。特に、義務教育終了後の世代には使える場が必要だ。



英語教育のさらなる充実を

# 町内の習い事環境整備は

町長

## サービス拡充をはかれないか検討する

【小谷】 本町には「習い事」の選択肢が少ない。または「送迎の問題や、金銭的な事情で通えない」という保護者の声は多く、その理由で本町への移住をためらう世帯もあると聞か。

【町長】 本町のみならず、全国の過疎地域に共通する課題だ。

【小谷】 町内の事業者とも連携するなど、民業圧迫にならないような工夫を検討しながら、公設の塾や英会話教室など学校の敷地内、あるいは近隣の場所で開催しないか。

【町長】 公民館などを拠点としたオンライン教育環境の構築を進めている。

また放課後児童クラブについて、民間事業者との連携などにより、習い事のサービス拡充をはかれないか検討する。



民間事業者との連携を

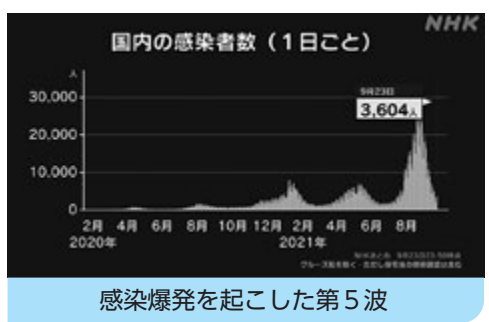


大森 正治 議員

# コロナ対策の強化を

町長

## PCR検査を無料で実施する



グラフはNHKの「特設サイト新型コロナウイルス」より

【大森】 コロナ禍2年目の7・8月、全国で感染爆発が起こった。県内でも感染拡大が続き町内でも感染者が発生した。

感染防止のために希望する町民に「いつでも、誰でも、何度でも」の立場で、PCR検査などをしないか。

【町長】 PCR検査などの費用助成を行う。上限を定めて無償とする。いま準備を進めているので、制度ができれば、感染拡大による町内運動施設などの使用禁止によって、合宿がキャンセルされた。その損害に補償すべきではないか。

【町長】 キャンセルは合宿50件で約6100人泊である。民間事業者に赤字補填はなじまない。事業継続支援交付金で対応したい。

【大森】 コロナ禍の影響で2年続きの米価暴落である。米農家に何らかの支援が必要ではないか。

【町長】 収入保険制度を利用してほしい。何らかの支援はしたい。

町長

## 一層のごみ減量化が可能に

## 広域ごみ処理基本構想で 今後は



広域化はごみの減量化につながるか

【大森】 西部広域行政のごみ処理施設基本構想は、パブリックコメントを反映してない。国の「プラスチック資源循環促進法」を踏まえてもいない。

これで、ゴミの減量化につながるのか。

【町長】 基本構想は、ゴミの減量化を基本方針にしている。広域化で統一した減量化施策ができ、一層の排出削減、リサイクルの促進が可能になると考える。

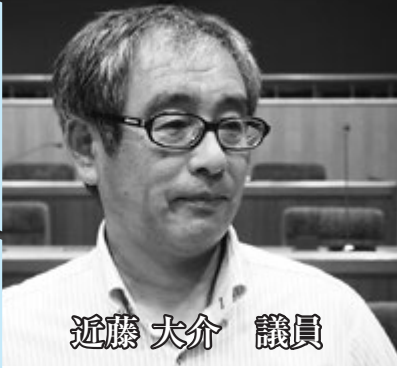
【大森】 国の法律で、熱回収はリサイクルではないと言っているのに、基本構想は、硬質プラ焼却による「ごみ発電」を柱にしている。矛盾しているが。

【町長】 基本構想を進める途中で国の法律ができたので、法律に沿った内容が検討されると認識する。

【大森】 ごみ処理施設の用地選定にあたり、各市町村から候補地を提出することになっている。本町ではどのように決めるのか。

【町長】 候補地となりうる場所の候補を提出するものである。





近藤 大介 議員

# スポ少の送迎支援は

教育長

## 現状では難しい

〔近藤〕本町小学生のスポーツ少年団の加入状況や5・6年生の参加割合は。

〔教育長〕11団体で243人が参加している。5・6年生での団員割合は約28%である。

〔近藤〕活動の現状と課題について、どのように認識しているか。

〔教育長〕少子化にともなう団員数の減少、特定の団への団員数の偏り、活動場所への送迎、指導者の確保などの課題がある。

〔近藤〕活動支援のために補助金を拡充すべきではないか。

〔教育長〕状況を確認し対応していきたい。

〔近藤〕校区を越えた合同チーム活動が常態化しており、送迎が難しい子は活動に参加できない。送迎支援をすることはできないか。

〔教育長〕現状では難しい。



移住定住サテライトセンター

# コロナ禍後の 移住施策は

町長

## 空き家バンクなど 取り組んでいる

〔近藤〕アフターコロナを見据えた本町の移住定住策の現状は。

〔町長〕従来型の移住定住に加え、ライフスタイルの変化に対応したテレワークなどによる「転職なき移住」が増えると予想する。

本町では、空き家バンクの登録件数を増や

す取り組みや、中長期滞在プランを提供する宿泊事業者への補助制度などに着手している。

またワーケーション促進のため、都市部の副業人材で組織される一般社団法人との連携事業を進めている。

# 中山地区に 町営子育て住宅を

町長

## 財政的に難しい

〔近藤〕中山地区では、少子化が一段と進んでいる。子育て世帯向けの賃貸住宅を中山地区に整備する考えは。

〔町長〕現在、子育て世帯向け賃貸住宅を、官民連携事業により町内（大山口）に整備予定で、その後中山地区に道筋をつけたい。

〔近藤〕大山口の経過を見てからでは遅すぎる。直営で20戸程度を整備する考えは。

〔町長〕出生数は町内全体が減っている。直営の住宅を建て続けるのは財政的に難しい。



全学年1クラスになった中山中学校



大原 広巳 議員

# ひきこもり相談の強化は

町長

## 寄り添った支援が必要だ

〔大原〕 コロナ禍でひきこもり相談が増えているか。対応は。ないか。対応は。

〔町長〕 相談件数は増えてはいないが、保健師、医師、臨床心理士と連携して対応している。

〔大原〕 業務の強化は。

〔町長〕 長期にわたって信頼関係を構築するという非常に息の長い、寄り添った支援が必要である。

〔心の健康相談〕「よなご若者ステーション」など、情報発信を強化していく。

〔大原〕 教育現場でのコロナ禍の影響は。

〔町長〕 保育園や学校と、スクールソーシャルワーカーとの連携が進み、相談件数が増えている。小学生の不登校も増えている。

家庭内の虐待など発見が難しい事案にも、教職員研修会を開催し、夏休み明けの生徒の変化に早期に気づき、チームで対応を進めている。



ヒエによる倒伏が目立つ水田

町長

## 促進していく

# ドローンの活用を

〔大原〕 外来植物が増えている。農地も除草対策が大変になってきている。ドローンを活用した対策の強化は。

〔町長〕 すでに、地域の担い手農家を中心に始まっている。今後は関係機関と連携して、スマート農業

社会実装促進事業などを活用して、導入支援を行う。

〔大原〕 大型特殊免許取得助成は終了か。

〔町長〕 一定の期間が経過し、ほとんどの人が取得されたのではないかと。事業はこれで一区切りで終了とする。

# 訓練減少の対応は

町長

## 啓発を強化していく

〔大原〕 7月の大雨の際は3カ所、8月は1カ所の避難所開設だったが、コロナ禍でこれで良かったか。

〔町長〕 気象状況から、被害想定が大きくなかったのでもう判断した。

〔大原〕 コロナ禍で集落の防災訓練の減少が予想される。対応は。

〔町長〕 防災行政無線や町ホームページを活用し、全世帯への防災対応の啓発を強化していく。

〔大原〕 本庁、支所の予備電源の状況は。

〔町長〕 非常時に支障がないよう、保守点検をしている。



日頃の訓練が大切





岡田 聡 議員

# 今後の財政運営の基本は

町長

## 負担を残さず 人口減少に歯止めを

〔岡田〕令和2年度決算の総括は。

〔町長〕新型コロナウイルス対策事業関係で22億円や、中山中学校大規模改修、小規模保育所建設に各1億円など。基金は6千万円増の70億8千万円、地方債は4億7千万円減の95億2千万円となり健全な財政運営ができたと考えている。

〔岡田〕経常収支比率がマイナスイラストの92・4%と高いが、県内各自治体との比較は。また、他の自治体のように数値目標を掲



地域の未来をどうするか

げ、改善に努力すべきと思うが。

〔町長〕データのある令和元年度比較で県内平均90・5%、本町は92・9%、県内で5番目に高い。全国類似団体平均90・2%よりも若干高い数値となっている。引き続き経常経費の削減に努めたい。

〔岡田〕今後の財政運営の基本方針は。

〔町長〕次世代に負担を残さず、人口減少に歯止めをかけ、将来の町民にも役立つ施策の実行が重要と考えている。

# 農業施策は

町長

## 有効な助成を検討したい

〔岡田〕本町の基幹産業である農業を持続・発展させるためには、効率化並びに所得向上が必要である。町内農家戸数の推移はどうか。

〔町長〕令和2年で1982戸となり、5年間で304戸減少している。

〔岡田〕効率化や所得向上の施策は。また、後継者不足の解消策は。

〔町長〕個人の営農方法の改善、法人化、集落営農の組織化などが考えられる。相談には普及所や農協などと連携して対応していく。

農業部門で地域おこし協力隊を募集し、アグリマイスターによる研修体制を整えている。

〔岡田〕美しい田園風景・農地を守っていくには、小規模農家や兼業農家の果たす役割が大きい。農機購入など助成施策が必要と思うが。

〔町長〕同じ認識である。これまで省力化機械など助成してきた。今後どういった助成ができるのか、有効なのか検討したい。



田園風景を守っていくには



池田 幸恵 議員

# 情報共有で 住みやすい町にしないか

町長

## 情報発信に努める



【池田】窓口対応や避難所で、支援が必要な人への環境整備はされているのか。

【町長】県の「ロービジョン相談窓口」に対応方法を確認するなど、これまで以上に配慮した対応に努める。

【池田】イラストや50音など、指で指し意思表示の補助をするコミュニケーションボードを導入しないか。

【町長】ホームページにリンクを掲載し、利用促進と周知を行う。

【池田】インターネット機器がないと見られ

ない。本町独自のボードを作らないか。

【町長】利用しやすい対応をしていきたい。

【池田】防災無線やSNS発信の緊急情報など、イベント情報では課によって提供度合いが異なる。

【町長】情報提供は課の役割である。ご指摘の通り徹底したい。

【池田】掲載基準は。また、利用促進の広報も必須だと考えるが。

【町長】本町が主催共催する事だ。掲載内容や方法など精査し、情報発信に努めたい。

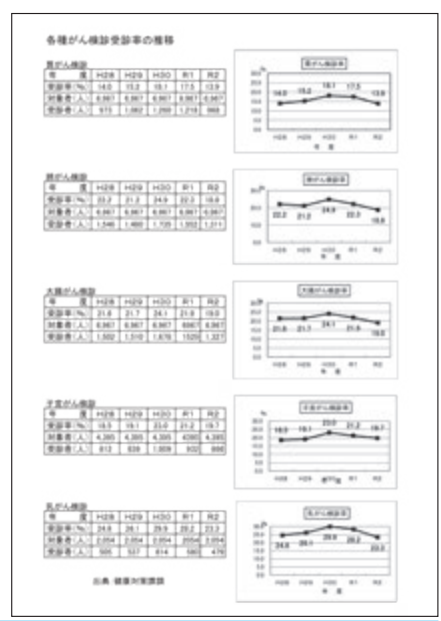
# 低下している受診者対策は

町長

## 増加傾向にある



野口 俊明 議員



【野口】人間ドック、脳ドックの受診年齢を上げる考えは。

【町長】受診年齢の引き上げは、考えていない。

このグラフどう見える





島田 一恵 議員

# 文字通知受信機の設置を

## 町長 前向きに検討する

【島田】防災行政無線でのまちづくりや各種団体の放送は利用できないか。

【町長】本町の防災行政無線の免許状には公共事務以外の利用は違法となる。ただし、緊急時、やむを得ない場合は柔軟に対応する。

【島田】下校時間や帰宅時間での事故防止対応のひとつとして、子どもたちの安全を守る放送を防災行政無線でできないのか。

【町長】放送についてはさまざまな議論があるが子どもたちの帰宅時間に見守りの活動のひとつとして、外で作



安心安全を呼びかける

業する人、運動する人へ協力をしてもらえるように前向きに検討する。

【島田】防災行政無線の内容はネットサービスでも届き利便性は良くなったが、聴覚障がいの人に防災行政無線放送を文字でお知らせする戸別受信機の設置はできないか。

【町長】本町では、7、8年前に検討があったが、その後対応はしておらず、もう一度、今の現状でどんな受信機があるのか、あるいは対象世帯がどれくらいあるのかを踏まえて再度、前向きに検討する。

# 一目でわかる 審議結果

8月臨時会  
9月定例会  
提出議案

### ○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	8月臨時会														結果		
	議員名	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大杖正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵		岡田聡	野口俊明
財産の取得について (電動アシスト付きスポーツ自転車等)	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成9人 可決
9月定例会																	
令和2年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成14人 認定
令和2年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	賛成14人 認定
令和3年度大山町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	賛成14人 可決
新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	賛成1人 不採択

### ◇全会一致で議決した議案

8月臨時会 工事請負契約(1件)、財産の取得(3件)、専決処分(1件)、補正予算(1件)  
9月定例会 財産の取得(1件)、条例(4件)、決算認定(14件)、補正予算(7件)、陳情(1件)、発議(2件)  
議案の議決は、米本隆記議長を除く15人で行います。

# 8月臨時会

8月11日の臨時会で、一般会計補正予算など7議案を可決しました。

財産取得の質疑・討論では、観光振興のための電動アシスト付きスポーツ自転車購入に論議が集中しました。

## 一般会計補正予算

### 質疑

#### 文字放送専用端末

【池田議員】更新にあたって新たに放送することがあるのか。前年度をまたいで予算の繰越しはどうか。

【総務課長】今まで通りの放送内容だ。納入期限が3月31日までにならているが、コロナ禍の為2カ月前までに納入可能か否か連絡をもらう。

【町長】年度を繰越した工事をした議案を経験しており、その対策として工事であれば1カ月程の余裕のある計画、物品購入等に関しては2カ月前までに納入可能か否かの連絡で間に合うようになっている。

#### 電動アシスト付きスポーツ自転車

【門脇議員】指名、一般競争入札にせず、随意契約5社見積もり（県外2、県内1、町内2）で、公平公正は確保されているか。

【副町長】全ての業者を入札参加させるのは不可能である。公平公正に競争の原理を働かせて対応した。

【吉原議員】町内業者だけの参加もできたのでは。維持管理の点では有利と思うが。

【副町長】大手の2社はスポーツバイク、マウンテンバイクに注力しており、これを納入業者として設定した担当課と、町内業者にも参加の機会を与えたいという委員会の意見の反映と理解してほしい。

メンテナンスに関しては、契約の中に織り込まず近隣の業者に任せられるものにする。

【吉原議員】財産物品の管理や責任の所在は。

【副町長】本町の責任で、運営が始まったら管理委託をする。

【野口議員】必要なヘルメットの数が大10、小10で20台に10個はなぜか。

【町長】ヘルメットがないので利用できないという事態は避け、サイズ調整できるように発注している。

【池田議員】ヘルメットは消耗品だ。備品とするならば、耐用年数や安全面は。

【観光課長】T Sマークや保険もつけて、安全対策を図る。

【大杖議員】レンタル場所、設置管理、安全確認など運用面の計画や安全徹底は。

【観光課長】池田、大杖議員の意見を参考に考える。

### 討論

【反対・・・西本議員】納入期限が早すぎる、判断基準に納得できない。

【反対・・・門脇議員】業者選定の不公平性があり、契約書に電動アシストに必要な蓄電池などが記載されておらず、町の負担が増える可能性大である。

【反対・・・池田議員】選定期間が短すぎ、いろいろなことに慣れていない町内の業者には不利である。また、今の時点で安全面に関して不十分である。



入札について議論される自転車購入



# 議会からのお知らせ

## 「出張・議員と語る会」を開催予定

本町議会では年2回開催している「議員と語る会」について、コロナ禍の状況を注視しつつ開催を予定しています。

今秋の語る会は集落などへ出向く、出張形式での開催を計画しています。

地域の課題や町政のことなど、議員と話をしてみたい集落や団体などありましたら、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局／TEL 0859-54-5213 FAX 0859-54-5214

### 請願と陳情

住民のみなさんが議会にかかわる接点は、「選挙」、「直接請求（選挙権を持つ住民の1/50以上の署名が必要）」、それに「請願と陳情」があります。町行政に意見や要望があるときは、どなたでも請願書や陳情書を議会に出すことができます。（請願には議員1名以上の紹介が必要ですが、陳情の場合は必要ありません）小さなことでも、議員や議会事務局にご相談ください。

### 議員派遣予定の研修

#### ・鳥取県町村議会議長会主催の広報研修会（コロナ禍により延期されたもの）

目的：議会広報の編集知識習得のため

派遣場所：湯梨浜町「国民宿舎 水明荘」

期間：令和3年10月27日（水）

派遣議員：小谷議員、西本議員、豊議員

#### ・鳥取県町村議会議長会議員研修

目的：地方自治の振興と発展に寄与するため議会改革、議会の活性化について学ぶ

派遣場所：東伯郡三朝町

期間：令和3年11月22日（月）

派遣議員：全議員

#### ・西部町村議会議長会主催の議員研修会（コロナ禍により延期されたもの）

目的：政治知識の向上と議会活動の活性化に資するため

派遣場所：米子市淀江町

期間：令和4年1月開催予定

派遣議員：全議員





# 声

## みんなのひろば



ほんだ くらら  
本多 小春 (名和中)

大山町の

ベスト3

私が思うベスト3は、「地域の人  
が優しい」、「山が近い」、「静か」  
です。  
学校帰りに「お帰り」と声をか  
けて下さるなど、優しい地域の人  
たちと関われるところは、大山町  
の良い所だと思います。

また、きれいな山々をどこから  
でも見ることができ、いちいち遠  
出をしなくても、雄大な自然を味  
わうことができるのも良いです。  
「静か」というのは、良い意味で  
す。大山町はとも落ち着いた雰  
囲気があります。お昼などに耳を

澄ますと、鳥の声などが聞こえて  
きて、居心地よく感じられます。  
大山町と聞くと、「田舎」としか  
思わない人もいるかもしれませんが。  
しかし、住んでみると結構良い所  
だと、私は思います。住んでみな  
いと分らない大山町の良さが、  
たくさんあるのです。



いちはし みさき  
市橋 実奈 (中山中)

赤瓦の

あたたかさから学ぶ

修学旅行で倉吉の白壁土蔵群を  
散策していると、「こんにちは。ど  
こから来たの。」と地元の人に話し  
かけられた。「大山です。」と答え  
ると、「ようこそ倉吉へ。」と笑顔  
で言われた。私はとても嬉しくて  
温かい気持ちになった。店に入っ

ても心地よい接客を受けた。白い  
漆喰壁と黒い焼杉板、屋根は赤瓦。  
美しい外観だけでなく住む人々も  
優しい。だからこそ、ここは長年  
愛されているのだろう。また来た  
いなと思った。  
大山町にも集客できる観光地が

ある。大山だ。大山は、登山や散  
策を楽しむことができる。アスレ  
チックのできる「森の国」もある。  
スキー場もある。山そのものもよ  
いが、山から見る海がきれいだ。  
中山から見る北壁も美しい。季節  
を問わず何度でも来てほしい。  
そして私は、大山町に来た人に  
素敵な町だなと思ってもらえる挨拶  
を心がけ、おもてなし精神を磨  
いていきたい。



いずみ そら  
伊澤 想良 (大山中)

足元の

見つけ直す

私達の住む大山町。小学校から  
地域を学び誇りに思っていた。し  
かし、人口減少や交通の不便を感  
じることもあった生活、コロナに  
より足元を見つめることができた。  
あたり前と思っていた自然。厳  
しい規則を受ける中、川の流れ、

稲穂のゆれや鳥の囀り全てが体に  
染みわたる明日へと後押ししてく  
れた。地域の育む自然の幸も欠か  
せない。  
例えば、ゆでたてのブロッコリー  
が甘くて大好きで、そのままお皿  
いっぱい食べられそうです。そし

て地域の人のあたたかさだ。おは  
よう、おかえりと家族のような優  
しさに触れるたび、心がほっこり  
する。  
不便なことを感じることもある  
けども、それ以上に魅力のあるこ  
とに目を向けると限りがなく、私  
はそんな大山町が大好きです。  
また、もとの生活に戻ったとき、  
一人でも多くの人にこの素晴らし  
さを実感してほしい。

### 季節の変わり目彼岸花

あつがき

ワクチンの接種率が高く  
なることもに、長いコロナ  
禍もようやく落ち着いてき  
たように思います。

We Love 山陰キャン  
ペーンも再開され、経済活  
動が活発になることも期待  
されます。

とはいえ、この冬にはコ  
ロナ、第6波の心配もあ  
り、依然として、慎重な感  
染対策が必要なようです。

有効な治療薬ができるま  
で、当分もどかしい日々が  
続くのかもしれない。

いつかは出口が来ると信  
じて、今は、今できること  
を頑張つて、日々を楽しん  
でいきたいと思っています。

とりあえず、秋の夜長を  
楽しむために、「GO TO 図  
書館」しようかな。

近藤

【発行責任者】

議長 米本 隆記

【広報常任委員会】

委員長 池田 幸恵

副委員長 西本 憲人

委員 大原 広巳

委員 近藤 大介

委員 森本 貴之

委員 島田 一恵

委員 豊 哲也

委員 小谷 英介